

## 国立公文書館LANシステム設計構築及び運用保守業務一式 意見書への回答

項番	頁	項目	行	意見対象の要件文言	意見概要	提出の理由	修正有無	国立公文書館意見への対応(回答)
1	11	4.4.導入	283	業務用端末へのキッティング等の作業を実施し、速やかに利用できる状態で、休日または深夜に、各職員への配布を準備すること。	キッティング作業以降、貴館ネットワークに接続しなければならぬ作業があり、休日または深夜だけでは事前作業が終わらない可能性がある為に仕様の緩和をお願いいたします。	業務用端末を利用できる状態にする為には、貴館のネットワークに接続して作業を実施する必要がありますと認識しています。 その為、業務用端末の対応は以下になると考えており、仕様書の修正をお願いします。 ・業務用端末に対して、可能な限りのキッティングを事前に実施する ・休日または深夜、各業務用端末の設置場所等で貴館のネットワークに接続し、キッティング後の設定作業を実施する	○	調達仕様書(案)を修正する。  以下のとおり修正する。 「業務用端末へのキッティング等の作業を実施し、当館と協議の上、可能な限り休日または深夜に、各職員への配布を準備すること。」
2	15	4.10.機器撤去、データ削除	386	SSDの消去はEnhanced SECURITY ERASE UNIT コマンドによるものとする。	Enhanced SECURITY ERASE UNIT コマンドに準ずる方法での消去を認めていただきたいです。	仕様書の内容どおり処理する場合、物理破壊による方法のみに限定されてしまうため。その他ソフトウェア消去による対応を行いたいため。	○	調達仕様書(案)を修正する。  以下のとおり修正する。 「SSDの消去は原則としてEnhanced SECURITY ERASE UNIT コマンドによるものとする。異なる消去方法を用いる場合は、Enhanced SECURITY ERASE UNIT コマンドと同等以上の消去方法であることを事前に提示し、当館の承認を得ること。」
3	20	5.2.2.チームリーダー要件	459-461	チームリーダーとして最低一人は、情報処理技術者試験の資格である高度情報処理技術者のネットワークスペシャリストの資格を有する、又はこれと同等の能力がある者を含めること。	「同等の能力がある者」とあるが、資格取得以外の能力を証明する具体的な方法を記載頂きたい。	どのような資料を提示することで、同等の能力を有することを示せるか不明なため。 ネットワークスペシャリスト資格を提唱するIPA(独立行政法人情報処理推進機構)が発行するITスキル標準の達成度指標に準じて同等の能力として頂きたい。	○	調達仕様書(案)を修正する。  以下のとおり修正する。 「チームリーダーとして最低一人は、情報処理技術者試験の資格である高度情報処理技術者のネットワークスペシャリストの資格を有する、又はこれと同等の能力がある者を含めることとし、その際は、情報システムの構築等において中心的な役割を果たし、技術的支援を行った経歴を証明すること」
4	20	5.2.3.チームメンバーの要件	466-471	設計・構築等を行う担当者には、情報処理技術者試験のうち、次に掲げる試験区分の合格者又はこれと同等の能力がある者を1名以上含むこと。なお、同一人が全ての試験区分に合格していることを求めるものではない。 i) システムアーキテクト試験 ii) データベーススペシャリスト試験 iii) ネットワークスペシャリスト試験	本調達に対して不要な下記スキル要件を削除し、要件の緩和をお願いいたします。 i) システムアーキテクト試験 ii) データベーススペシャリスト試験	今回の機器として開発要件がなく、データベースもパッケージ製品やクラウドサービスを利用するため、個別に設計を行いません。 ネットワークスペシャリストはチームリーダー要件に記載されているため、担当者としてはCCNA等でも対応可能と考えます。	○	調達仕様書(案)を修正する。  以下のとおり修正する。 「設計・構築等を行う担当者には、情報処理技術者試験のうち、次に掲げる試験区分のうちいずれか1つ以上の合格者又はこれと同等の能力がある者を1名以上含むこと。」
5	20	5.2.4.情報セキュリティ統括責任者の資格	479-481	ii) International Information Systems Security Certification Consortiumが認定する CISSP 認定資格者又は情報処理技術者試験の資格である情報処理安全確保支援士試験の資格を有する、又はこれと同等の能力があること。	「同等の能力がある者」とあるが、資格取得以外の能力を証明する具体的な方法をご教授頂きたい。	どのような資料を提示することで、同等の能力を有することを示せるか不明なため。	○	調達仕様書(案)を修正する。  以下のとおり修正する。 「ii) International Information Systems Security Certification Consortiumが認定する CISSP 認定資格者又は情報処理技術者試験の資格である情報処理安全確保支援士試験の資格を有する、又はこれと同等の能力があること。ただし資格を有していない場合は、経歴の証明を必要とする。」
6	21	5.3.定例会	485	受注者は、設計・構築にあたり、当館及び当館が指定する者が参加する全体定例会を開催・運営するとともに、業務の進捗状況及び課題対応状況、問題事項等を整理して、適切に報告するものとする。	会議体については、コロナ感染予防の対応を鑑み、オンラインミーティングによる開催も可としていただきたい。	対面での会議体よりもオンラインミーティングによる報告が主流になっております。		調達仕様書(案)のとおりとする。  調達仕様書(案)において、会議の開催方法を限定しているものではない。状況に応じてオンラインミーティングを開催することも考慮している。

項番	頁	項目	行	意見対象の要件文言	意見概要	提出の理由	修正有無	国立公文書館意見への対応(回答)
7	24	11.2.1.サーバー機能	932	なお、サーバー機器は以下については、館内環境で構築すること。	「ファイル共有ストレージサーバ」についても、クラウドサービスでの提供を可として頂きたい。	2021年(令和3年)3月30日「政府情報システムにおけるクラウドサービスの利用に係る基本方針」を鑑みると、コスト削減に加えて、情報システムの迅速な整備、柔軟なリソースの増減、自動化された運用による高度な信頼性、災害対策、テレワーク環境の実現等に寄与する可能性が大きい。		調達仕様書(案)のとおりとする。
8	27	8.2.競争参加資格	特定該当行無し	該当文言無し	第三者賃貸借方式での契約の採用及び、右記修正案の追記を認めていただきたいです。	第三者賃貸借方式による契約は、府省及び独立行政法人の調達案件における一般的な契約形態であり、リース会社を契約当事者に加えることにより、ベンダー・リース会社での責任区分が明確になるため。		調達仕様書(案)のとおりとする。 第三者賃貸借方式での契約についても、認めるものとする。
9	29	8.5.複数事業者による共同提案	754	複数の事業者が共同入札する	複数事業者による共同提案とは、共同事業体(コンソーシアム方式)での提案との認識で宜しいでしょうか。	認識の確認のため。		ご認識のとおり。
10	29	8.5.複数事業者による共同提案	762	共同入札を構成するすべての事業者は、公的な資格や認証等の取得を除くすべての応札条件を満たすこと。	共同入札を構成する事業者が、調達仕様書に記載される公的な資格や認証等を取得している場合や、ワーク・ライフ・バランス等の取組をしている場合、総合評価における加点項目とすることを認めていただきたいです。	共同入札の代表者だけでなく、構成事業者も評価することにより、入札の競争性を高めるため。		調達仕様書(案)のとおりとする。
11	43	11.2.8.情報資産管理機能	1259	ブラウザのオートコンプリート機能の禁止(制限/解除)設定ができること。	一部のブラウザおよびバージョンのみにしか対応できないため、緩和いただきたい。	2022年6月16日(日本時間)をもって、Microsoft社よりInternet Explorerのサポートが終了となることが告知されております。選定する製品によってはIE以外のブラウザにおいて対応できないため、本項目の削除をお願いいたします。		調達仕様書(案)のとおりとする。
12	46	11.2.10.(1)基本要件	1378	表 バックアップ対象一覧「テープもしくはクラウド」	バックアップの二次バックアップ先が「テープもしくはクラウド」となっているが、ストレージ装置を認めていただきたい。	テープによる遠隔地バックアップは、テープ交換など、運用コストが大きくなる。また、テープ装置は大容量のバックアップをできる構成とした場合、ストレージ製品と同等な費用が必要になるため、運用費用の削減につながる。	○	調達仕様書(案)を修正する。 以下のとおり修正する。 1366行目の下に以下の一文を挿入。 「バックアップは、災害発生時に同時被災しない遠隔地に保管する等、情報の完全性を担保すること。なお、遠隔地保管とする場合は、その移送時間と復旧に必要な時間を考慮すること」 1378行目「表 バックアップ対象一覧」の1行目を「バックアップ装置(クラウドサービスを含む。)」と修正
13	50	11.2.11.(6)業務支援機能	1480	コラボレーション機能とデータ連携が容易にできること。	容易性については作成者、連携内容に依存するため具体化いただけないでしょうか。	仕様書内容具体化のため	○	調達仕様書(案)を修正する。 以下のとおり修正する。 「容易に」を削除。 「コラボレーション機能とデータ連携ができること。」
14	65	12.5.2.可用性要件(SLA要件)	1934	【通常運用時】ベンダリリース後のパターンファイルの適用、セキュリティに係るリスト等の更新までの時間 【インシデント発生時】ベンダリリース後のパターンファイルの適用、セキュリティに係るリスト等の更新までの時間	ベンダリリース後のパターンファイルの適用について、時間の計測方法が難しいと考えられるため、文言の削除についてご検討をお願いいたします。	ベンダがリリースするタイミングの詳細情報の入手が難しいと考えられるため		調達仕様書(案)のとおりとする。 SLA基準値については、システム運用開始後に、当館と基準値妥当性確認の協議を行うこととしている。

項番	頁	項目	行	意見対象の要件文言	意見概要	提出の理由	修正有無	国立公文書館意見への対応(回答)
15	68	12.10.1.(2)電源供給	2023-2028	入力電源は、NEMA5-15Pのプラグであること。 ・EIA 規格 19 インチラックに搭載可能であること。高さは 2U以内であること。 ・出力コンセントは、NEMA5-15Rが6口以上有すること。 ・突起部を除き、奥行きが475mm以下であること。 ・定格容量は 1500VA/1200W以上であること。	最新のサーバに高性能CPUを2個以上搭載した場合、100V電源製品がないサーバがあります。そのため、200V入力のUPSが利用できるように要件を緩和頂きたい。	高性能CPUを利用した製品の幅を広げるため		調達仕様書(案)を修正する。  以下のとおり修正する。 「・入力電源は、NEMA5-15Pまたは、NEMA L6-30Pのプラグであること。 ○ ・EIA 規格 19 インチラックに搭載可能であること。高さは 3U以内であること。 ・出力コンセントは、必要数量を有すること。 ・突起部を除き、奥行きが750mm以下であること。 ・定格容量は 1500VA/1200W以上または、5200VA/4600Wであること。」
16	78	14.2.作業実施方法等	2285	情報セキュリティ格付会社である株式会社アイ・エス・レーティング格付け「AA+is(ダブル・エー・プラス)を有していること。	特定のITベンダー及びそのグループ企業に偏る内容のため、該当の文後を削除して頂きたい。	入札の公平性に観点から		調達仕様書(案)を修正する。  ○ 以下のとおり修正する。 「情報セキュリティ格付会社である株式会社アイ・エス・レーティング格付け「AA+is(ダブル・エー・プラス)を有していること」を削除。
17	83	14.3.3.(2)インシデント対応について	2419	ただし、検知内容や状況を踏まえ、館業務に重大な影響を与えるインシデントの発生である場合は、通年終日の連絡受付及び迅速な復旧作業を行うこと。	緊急時の体制整備の表現を緩和して欲しい。	緊急時における通年終日の連絡受付整備を行おうとすると結果、24時間365日の体制整備が必要となってしまう。		調達仕様書(案)を修正する。  ○ 「ただし、検知内容や状況を踏まえ、館業務に重大な影響を与えるインシデントの発生である場合は、通年終日の連絡受付をすることとし、可能な限り、迅速な復旧作業を行うこと。
18	84	16.附属文書 表 サーバハードウェア機器 機能要件及び性能要件	—	ファイルサーバ	フォルダは任意の階層でクォータ(容量制限)が可能であることを必須として頂きたい。	任意の階層での容量制限に対応しない場合、特定のフォルダの利用者によって大量のデータがアップロードされた際、上位のフォルダの利用者を含めた全体に影響が出てしまうため。		調達仕様書(案)を修正する。  ○ 以下のとおり修正する。 「 <u>ユーザ・グループによるアクセス制御及び容量制限を行うことができること。</u> 」を追記。
19	特定該当頁無し	特定該当項目無し	特定該当行無し	特定文言無し	第三者賃貸借方式における、応札者に付随する業者が、調達仕様書に記載される公的な資格や認証等を取得している場合や、ワーク・ライフ・バランス等の取組をしている場合、総合評価における加点項目とすることを認めていただきたいです。	応札者だけではなく、応札者に付随する業者も評価することにより、入札の競争性を高めるため。		調達仕様書(案)のとおりとする。